

熊本地震の被災者支援に ご協力を！

4月14日以降、熊本県を中心として相次ぐ地震により、被害を受けた方達を支援するため、自治労本部では、「災害特別カンパ」を実施します。

道本部から各単組に直接、発文されておりますが、後志地方本部としても被災者支援のため、皆様に重ねてご協力をお願いします。

カンパ方法は下記のとおりですが、詳しくは2016年4月22日付けの道本部からの発文を御確認ください。

お亡くなりになった方のご冥福をお祈りするとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り致します。

1. カンパの対象～全ての自治労組合員
2. カンパの金額～任意
(組合員1人500円目標)
3. 集約日
第1次：2016年5月13日(金)
第2次：別途道本部より示される予定
4. 集約方法
各単組・総支部毎に集約し、道本部発文に記載の口座へ振り込み
5. 問い合わせ先
自治労北海道本部 企画総務部



各単組・総支部のご協力をお願い致します。

公認と無所属の違いは？

4月24日北海道5区で衆議院補欠選挙が行われ、「池田まき」さんは、民進党などからの推薦は受けたものの、無所属の候補として自民党の公認候補を相手に選挙戦を戦い抜きました。

では、この党公認と無所属、どんな違いがあるのでしょうか？

党の公認候補の場合、政党から「公認料」という名目で選挙資金の援助を受けることができ、政党支持団体からの人的金銭的応援・組織票も期待できます。しかも、公職選挙法の定めにより衆議院議員選挙のテレビやラジオの政見放送に出演できるのは公認候補だけですし、利用可能な選挙事務所数・宣伝カーの台数も公認候補の方が多くなっています。

このように選挙制度上では、公認候補に有利な制度となっておりますが、無所属の場合、党の公約に縛られずに活動ができるという利点もあります。

今回、池田さんは野党共闘が背景にあり無所属として出馬し、惜敗してしまいましたが、今夏の参議院議員選挙に向け、野党共闘の基礎を築くことができました。

いずれにしても、各級選挙の際には、自分達で候補者の政治理念や主義、主張等を確認することが大事ではないでしょうか？

「誰も信じられないから投票しない。」ということはせずに、まずは投票所へ行きましょう。

